

病害虫発生予察情報
6 月月報

令和 7 年 7 月 11 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）0

2025 年 6 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)		
	最 高		最 低		平 均						
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)	
上旬	26.6	1.0	17.3	0.8	21.6	0.9		33.0	73.7	47.2	90.1
中旬	30.5	4.3	21.9	3.7	25.6	3.9		21.5	31.5	56.8	144.2
下旬	32.5	5.4	23.5	3.9	27.5	4.6		67.5	126.2	74.1	240.6
平均	29.9	3.6	20.9	2.8	24.9	3.1					
合計								122.0	73.2	178.1	144.1

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所
※ 平年差（比）：平年値（1991～2020 年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

上旬：この期間の天気は、高気圧に覆われて晴れの日もあったが、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日もあった。
なお、関東甲信地方は 6 月 10 日ごろに梅雨入りしたとみられる（速報値）。
中旬：この期間の天気は、前半は梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が続き、後半は高気圧に覆われて晴れの日が続いた。また、後半は、気温がかなり高くなり、東京では日最高気温 30℃以上の日が続いた。
下旬：この期間の天気は、期間の中頃は前線や台風第 2 号から変わった熱帯低気圧の影響で曇りや雨となった。期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れの日が多くなり、気温のかなり高い日が続いた。

2 作物生育概況

(1) イネ

田植えは 6 月に終了、生育は平年並みであった。

(2) 野菜

果 菜 類：キュウリでは生育が早まり、収穫期も前倒しの傾向となった。トマトは全域で日焼け果が発生した。
葉根菜類：コマツナの一部で高温による発芽不良がみられた。生育は概ね平年並みであった。
イ モ 類：ジャガイモの収量は平年並み、サツマイモの生育は順調であった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土・露地）におけるブドウ主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下の通り。

すべての品種で開花始・盛期は平年並みであった。

巨 峰：開花始 5 月 26 日（－1 日），開花盛 5 月 30 日（±0 日）

安芸クイーン：開花始 5 月 26 日（±0 日），開花盛 5 月 30 日（＋1 日）

高 尾：開花始 5 月 23 日（－2 日），開花盛 5 月 27 日（－1 日）

(4) 茶樹

例年より 1 週間程度生育が遅いが、おおむね順調。おおきな病害虫被害もない。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病（苗）	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 並 >	発生は平年並みであった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< やや少 >	フェロモントラップへの誘殺数はやや少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 少 >	予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数は少なかった。
クサギカメムシ	< 少 >	予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数は少なかった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	フェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
チャハマキ	< やや少 >	フェロモントラップへの誘殺数はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯への誘殺数は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病

< 少 >

発生は少なかった。

トマト

モザイク病

< 少 >

発生は少なかった。

灰色かび病

< 少 >

発生は少なかった。

葉かび病

< 少 >

発生は少なかった。

疫病

< 少 >

発生は少なかった。

白ぶくれ症

< やや少 >

発生はやや少なかった。

コナジラミ類

< やや少 >

発生はやや少なかった。

オオタバコガ

< 少 >

発生は少なかった。

キュウリ

うどんこ病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

べと病

< 並 >

発生は平年並みであった。

アザミウマ類

< 並 >

発生は平年並みであった。

ナス

アザミウマ類

< やや少 >

発生はやや少なかった。

ハダニ類

< やや少 >

発生はやや少なかった。

コマツナ

白さび病

< 少 >

発生は少なかった。

炭疽病

< 少 >

発生は少なかった。

コナガ

< 少 >

巡回調査での発生は少なく、フェロモントラップへの誘殺数は少なかった。

カブラハバチ

< 少 >

発生は少なかった。

アザミウマ類

< 並 >

発生は平年並みであった。

スイートコーン

アワノメイガ

< やや少 >

巡回調査での発生及びフェロモントラップへの誘殺数はやや少なかった。

ネギ

べと病

< 並 >

発生は平年並みであった。

さび病

< 少 >

発生は少なかった。

ネギアザミウマ

< やや多 >

発生はやや多かった。

ネギハモグリバエ

< やや少 >

発生はやや少なかった。

キャベツ

菌核病

< 並 >

発生は平年並みであった。

黒腐病

< 少 >

発生は少なかった。

コナガ

< 少 >

巡回調査での発生は少なく、フェロモントラップへの誘殺数は少なかった。

ヨトウガ

< 少 >

発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病

< 少 >

発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

島しょ地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺あり>

病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。